

おんが

発行所
遠賀町役場
編集発行
遠賀町庶務課
印刷所
冷牟田印刷合資会社



年頭のことば

遠賀町長 小川 登一郎

今年、明治百一年である、百年間に学んだ数々の教訓を生かしながら、新しい百年の第一歩を力強く踏み出す年でもあります。同時に科学技術の躍進の時代でもあり、時代の進展に沿って、人造り町造りを進めることが大切であります。

今年「酉年」で、鳥のように万事飛躍、発展の年、大きくはばたき大空に飛び立つことを意味すると申します。

あわただしい暖冬の中に暮れて明くれば白皚々、稀有な初雪の中に昭和四十四年の新春を迎え、まことにめでたく謹んでお祝い申し上げます。

多角化、農閑休期間中の家内副業の導入等、充分研究の必要があるかと思ひます。

顧みまするに昨年は、町民皆様のご理解とご協力によってどうか、当初計画しました事業は一応順調に進んで参りましたが、町の主産業である稲作において、農民諸氏の格別な努力にも拘らず打ち続く気象の悪条件に禍されて病虫害の蔓延と、収穫直前に襲った雹害によって、思いがけない被害を蒙り、農家経済に甚大な打撃を与えたことは、まことに遺憾に堪えません。

去る年末十二月二十八日、アメリカのアポロ八号が壮大な月周回旅行を完行して、無事帰って参りましたことは、世人の奇しく驚きとこの偉大な業績に対して敬意を表するものであります。科学技術が進歩したおかげとはいえ、人間は遂に月から地球を見ることが出来る時も、間近になったように思えます。それは地球人として人間世界を見直さねばならぬ時が来たということでもあるのであります。

このように私達は、日常の仕事に対して不断の研究と努力を傾注して、科学技術の導入に、事業の創造発展に心掛けることが大切であることを訓えらるるものであります。

本年の事業計画については、純事業や新規事業等色々あるが、要は財源の許す限り、有効適切に明るい町造りに専念したいと思つております。

今後農業経営も何とか自然を克服するよう、之が対策について一層の研究と努力が必要であると共に、単作地帯に於ける農業経営の

町民の皆様、どうか本年も相変らず、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。茲に聊か所懐の一端を述べて、年頭のご挨拶といたします。

1969年

新年賀

永久選挙人名簿の登録申し出でを

いたしましょう

成人に達した人はすみやかに

登録の申し出でをして下さい

町民の動き

10月末	2,232世帯
男	4,395人
女	4,776人
計	9,171人
12月異動	+9世帯
男	+18人
女	+22人
計	+40人
12月末	2,241世帯
男	4,413人
女	4,798人
計	9,211人

遠賀町の

稲作二〇年の歩み

最近、いざなぎ景気、といわれ日本経済は安定路線で繁栄を続けているが、農業の前途はかつてないほどどきどきしくなってきた。

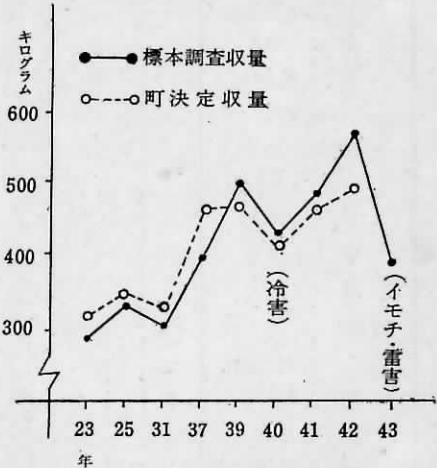
四二年に続く四三年産米の増収は政府買入米の激増ひいては食糧会計を圧迫し、稲作付制限案まで称えられる現状でこの際遠賀町稲作二〇年を振りかえってみよう。

一口に言って近年の稲作の特色は「品種改良」と「施肥法」の進歩に農業の大量使用が加わり、集約栽培による二〇アール当り収量増加が特徴である。

肥」と「硫酸」を併用した施肥法は、化学工業の発達にともない単肥から複合へ、成分量は低成分から高度成分へ、単純な無機物から重合体へ、肥効は速効性から緩効性へ、最近では農業その他混入肥料など高性能になって元肥主体から分施肥に改良されてきた。

こうした「品種育成」と「施肥法」に高性能農業の使用が合致して、今日の二〇アール当り収量は第一図のとおり三八年頃から急伸し、四三年のイモチ病と雹害による減収を除けば、二三年を二〇

第1図 遠賀町10アール当り収量変化



してみると増収と省力には著しい効果をあげているが、米の生産過剰が言われる今日、今までの行き方を反省し今後の稲作技術を考えてみよう。

第一に食味に重点をおき多収耐病で機械化に適する品種の育成普及により、稲作機械化技術の確立とともに水管理の改善と、新しい肥料と除草剤も普及して品質改善

に乾燥貯蔵技術も進むであろうし、他面集団の生産活動も少数の専業農家を中心になって高性能機械を利用した部分作業の受託方式などの普及も今後の課題ではないでしょうか。

農林省福岡統計調査事務所
北九州豊前地区調査官

金子彦三

第1表 遠賀町水稲主要品種の変化

作付率 年次	10%未満		10~20%	30%以上	
	23 26年	N 5 N 12	井 三	N 18 宝	
31	N 37 N 28	紅千石	N 27 N 12		
37	全南風 N 18	紅千石	N 12	石 十 伊 万 里	
39 43			金南風	ホーヨク シラヌイ アリアケ	

農林省統計調査二〇年間の調査結果より「品種」面では第一表のとおり著しい上昇となっている。勿論増収の要因は以上のほか、稲の一生を通じての生理生態の究明から「早植え」「密植」「間断灌水」などを含め稲作栽培の総合技術が進んだためであり、他方航

空防除・除草剤の普及・農業機械化などによる省力技術も併行し稲作の生産性が飛躍的に向上してき

野菜等に対するプラスチック剤（稲イモチ病、防除薬剤）の生育障害の防止について

標記については昨年使用指導講習会を実施しました際説明しましたようにプラスチック剤混入のカスプラン剤を使用した稲わら、もみぐらを野菜等に使用すると生育障害が起ることが福岡県立園芸試験場で再確認されましたので使用については左記事項に留意のうえ野菜等の生育障害防止に努められますようお知らせします。

- 一、プラスチック剤（カスプラン剤）を使用した水田跡作での野菜等の栽培はさける。
- 二、プラスチック剤を使用した稲わらを材料とした堆肥、敷わら等の

このことについての疑問点は農林省技術員にお尋ね下さい。

町県民税第四期分

納期限 一月二十五日

国民健康保険税第四期分

納期限 一月三十一日

納期限内に納めましょう

納税者の皆様方へ

申告納税につきましては日頃からご協力をいただき感謝いたしております。本年もまた、所得税、個人事業税、個人住民税の申告の時期となりました。申告の要領につきましては、昨年と同様でありますが次のことに留意されましてご協力下さい。

- 1 所得税、個人事業税、個人住民税の申告期限はすべて3月15日になっております。
- 2 所得税の確定申告書を提出しなければならぬ人は、個人事業税、個人住民税の申告事項もあわせて申告することになってお

冬期火災予防

●酷寒の折、皆様のご家庭ではいろいろな暖房器が使用され、また農家では乾燥機が使われ、四季を通じて火を最も多く使う時期です。

特に冬期は、空気が乾燥しますので一寸した不注意で火災を起すことになりしますので十分ご注意ください。

農業委員会選挙人名簿

登載申請について

農業委員会委員の選挙人名簿の作成は毎年一月一日現在の登録申請書に基づいて作成されます。

近く各区長さんを通じて申請書用紙を配りますので、昭和四十四年一月一日現在で次の要件を具備

交通事故相談実施

と き 一月二十一日

九時～十六時

ところ 中間市公民館

現在で満二十才であること。
 従って昭和二十四年四月一日以前に出生したもの
 ※一〇アール以上の農地について

狩猟に伴う事故防止について

ハンター待望の狩猟期間となりました。狩猟に出かける方は次の点を守っていただき事故や違反のないように、注意しましょう。

- 一、猟銃などは県公安委員会の所持許可を受けておかなければ所持はできません。
- また狩猟される方は別に県知事の狩猟免許を受けておかねばなりません。
- 二、猟銃の携帯、運搬、また狩猟の場合は所持許可証や狩猟免許を必ず携帯しましょう。
- 三、狩猟などにお出かけになる場合には銃はハダカのまま携帯運搬することはできません。
- タマを必ず抜いて、銃袋に入れます。
- 四、保護区、休猟区、道路、神

社、寺の境内墓地、家屋の密集地帯または、人に危害をあたえるおそれある場所では、猟銃、空気銃は発射できません。

- 五、猟銃などは他人に貸してはなりません。
- 六、狩猟は日の出後から日の暮れるまでの時間に行うことができます。
- 七、狩猟鳥獣のうち、アナグマ、オスイタチ、キツネ、タヌキ、テン、ムササビ、オスジカ、リスの八種類の狩猟は十二月一日から翌年の二月十五日までです。
- 八、狩猟をしてはならない休猟区などについてわからない点は最寄り派出所、駐在所または警察署にお問合せ下さい。

福岡県警察官募集

○受験申込 昭和四十四年一月十日まで
 受付日時 三日から同月二十五日まで

○試験日 第一次試験 二月二日(日曜)
 第二次試験 二月下旬

○試験地 県内福岡市、北九州、市小倉区、飯塚市、久留米市の四分所
 県外熊本市、大分市、鹿児島市の三ヶ所

○受験資格 昭和十七年四月二日から昭和二十六年四月一日までに生れた男子

○その他 受験についての問合せは次のところをお願いいたします。

福岡県人事委員会事務局 (七四一三七三―内線二二九)
 福岡県警察本部警務課 (七四一三三―内線二二三三)
 警察署または最寄りの派出所・駐在所

第二次試験

二月下旬

○試験地

県内福岡市、北九州

市小倉区、飯塚市、久留米市の四分所

県外熊本市、大分市

鹿児島市の三ヶ所